

施策評価シート

【施策の概要】

登録者(課長)名【1】	下水道課長 保谷 俊章
主管課(関係課)【2】	下水道課

施策名【3】	分野【4】	まちづくりの方向性【5】
--------	-------	--------------

安1-3	上下水道の運営	快適な日常生活のために	安全で快適に暮らすまちづくり
------	---------	-------------	----------------

概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	上水道については、安定供給や災害対策について東京都と連携していく必要があります。 下水道については、管路施設、ポンプ場などを適切に維持管理していくため、下水道事業や会計の健全運営の観点を踏まえつつ、施設更新を計画的に進めていく必要があります。		・老朽化した施設の計画的な更新 ・下水道事業会計の健全経営	上下水道の安定運営と維持管理に努め、市民の生活を支えます。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			

○東日本大震災以降、ライフラインとしての下水道施設の安定的な機能維持の必要性が高まっています。

事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】
	1	下水道の維持管理に努めます	下水道の安定運営と計画的な維持管理

【施策の成果】




			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	下水道施設の更新(箇所数、延長など)	目標値	計画的更新			単位	-	
		算出式・説明	市民生活の基盤を安定させるためには、下水道の維持管理を着実にを行うことが重要です。継続的、計画的なポンプ場及び排水管の維持管理、更新を効率的、効果的に行う必要があります。現時点では、日常的な維持管理を行っており、今後については、更新期を迎える下水道管の計画的な更新に取り組んでいきます。	実績値	-	-	-	-	-	-
		達成率								
	指標2	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
	指標3	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
	指標4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
達成率の平均値				0%	0%	0%	0%	0%	0%	

【市民意見】【13】

		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)		満足度(%)	31.5%	満足度(%)	33.7%
満足度(平均ポイント)		満足度(平均ポイント)	0.16	満足度(平均ポイント)	0.2
重要度(%)		重要度(%)	72.5%	重要度(%)	74.1%
重要度(平均ポイント)		重要度(平均ポイント)	1.06	重要度(平均ポイント)	1.13

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】 <input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】	◇下水道施設の維持管理については、これまで定期的・継続的に維持管理を行っています。今後については、老朽化する管渠を計画的に更新するとともに、重要な幹線等の耐震化についても必要に応じて実施する必要があります。 ◇汚水中継ポンプ場である東町ポンプ場及び下保谷ポンプ場については、都市計画道路の整備などによりポンプ場を廃止して自然流下による流域幹線への接続が可能となったことから、ポンプ場の維持管理費の大幅な軽減を図るため自然流下管渠の築造事業に着手しました。 ◇下水道事業の健全経営については、歳出の削減と歳入の確保に努め、一般会計からの基準外繰入金を抑制する必要があります。このため、歳出の削減については、ポンプ場維持管理経費の削減を図るためにポンプ場廃止に向けた自然流下管渠の築造事業に着手するとともに、歳入の確保については、汚水処理費に見合った負担を求めるために平成23年10月から下水道使用料の料金体系を見直しました。		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要性【18】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】	◇下水道施設の維持管理については、平成22年度に策定した「公共下水道プラン」に基づき、計画的に実施していきます。 ◇下水道事業の健全経営のため、今後も経費削減に努めるとともに、使用料の適正化に取り組む必要があります。また、これにあわせて、市民意識の喚起を促すための啓発を行って行く必要があります。		
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化	
	施策実施方針【22】	V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化
	判断理由等【24】	上下水道の運営については、既に上水道の運営は都に移管していることから、現在、市では下水道の運営のみを担っています。 下水道運営に関する課題としては、計画的な維持管理と経営の健全化が課題ではありますが、計画的な維持管理に向け、平成22年に「公共下水道プラン」を策定し、経営の健全化に向けては、下水道料金体系の見直しや維持管理経費の大幅削減につながる東町ポンプ場と下保谷ポンプ場の自然流下方式への切替工事に着手するなど、着実に実績を重ねてきました。 しかしながら、依然として経営改善に向けた取組みは立ち遅れた状況あり、引き続き使用料の適正化に取り組む必要があり、現状計画ベースの施策内容を維持しながら、コストの効率化を図るべきものと判断しました。 なお、管路施設維持管理についても、短期的には事業費の増額等があったとしても、全体としてはコスト効率化に努めることとします。
施策実施方針【22】	VI コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域	

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	管路施設等維持管理、ポンプ場の維持管理、水洗化の促進、（自然流下）	下水道課	<p>（下水道事業特別会計にて実施）</p> <p>毎日の生活から出るトイレなどの汚水を公共下水道に流すことにより衛生的な生活を送ることができます。</p> <p>下水道事業の公共汚水については、ほぼ100%が整備済みとなっていますが、今後下水道施設の老朽化が進むに従って、計画的に更新する必要があります。また、東町ポンプ場及び下保谷ポンプ場を廃止するため自然流下管渠の築造事業を進めます。</p>
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】		事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】	
事業費	人件費					
0	0	0	—	—	下水道事業について安定した運営のもと管路施設の維持管理と適切な施設更新を行うことにより、衛生的で快適な生活を送ることができます。	B
0	0	0				